

8月8日：VNインデックスは小幅高で引ける（VN-Index +0.07%）

- 火曜日は高く始まり、小幅ながら続伸して引けた。
- 投資家の慎重姿勢も高まっており、キャッシュフローが停滞すると下落に転じる場面も見られた。
- 銀行株を中心とした大型株の下落が重しとなり、下落に拍車をかけた。
- 後場に入っても引き続き下落基調となり、売り優勢となった。ただビンググループ（VIC）が4.9%、ビンコムリテール（VRE）が4.7%上昇するなど、下落幅を相殺した。
- 市場のセンチメントはまちまちで、242銘柄が上昇したのに対し、238銘柄が下落し、56銘柄は変わらずだった。
- 流動性も減少したが、売買代金は23.2兆ドンと比較的高水準だった。

VN30 指数は下落（VN30 -0.23%）

- 大型株で構成するVN30指数は、9銘柄が上昇、19銘柄が下落、3銘柄は変わらずだった。
- アジア商業銀行（ACB、-1.5%）、サイゴンハノイ銀行（SHB、-1.5%）、TP銀行（TPB、-1.6%）、VP銀行（VPB、-2.0%）など、銀行株が軟調だった。
- 半面、マサン・グループ（MSN、+1.1%）、ペトロベトナム・パワー（POW、+2.9%）、ベトジェット（VJC、+1.1%）、ペトロリメックス（PLX、+1.0%）などは堅調だった。

セクター、個別株の動き

- 食肉加工のダバコ（DBC、+6.9%）、HNG（+1.6%）、BAF(+3.5%)などは、中国の大雨・洪水により供給が減少し、豚肉価格の上昇が見込まれることから買われた。
- Fitch ソリューションがベトナムの2023年の電気自動車の販売台数が18,000台（前年比+118%）に達するとの予測から、ビンググループ（VIC）が4.9%上昇した。同社のレポートは、2023年から2032年の年間平均成長率が25.8%と予測している。
- ホーチミン市場では、外国人投資家の売りが増加し2,365億ドンの売り越しとなった。ただビンググループ(VIC)、マサン・グループ(MSN)、ベッティンバンク（CTG）、モバイルワールド（MWG）などは買い越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。